

「 学校 年」図画工作科学学習指導案

題材名 (授業者)	「知ってる? ピカソ!」【鑑賞】 作品:《静物》 1944 年 バプロ・ピカソ ☆授業者 T1: 小学校 年 先生 ★ゲストティーチャー T2: 埼玉県立近代美術館 先生		
実施日時	平成2 年 月 日 () [人× クラス] 準備: ~ 1時間目 (: ~ :) 2時間目 (: ~ :) 3時間目 (: ~ :) 4時間目 (: ~ :) 5時間目 (: ~ :) 6時間目 (: ~ :)		
目 標	○ピカソの人物像や作品に興味関心を持ち、感じたことを伝える。 【造形への関心・意欲・態度】 ○ピカソの作品のよさを味わいながら、感じたことを理由とともに伝える。 【鑑賞の能力】		
内 容	導 入:【美術館クイズ】で近代美術館を紹介する。 知 る:【ピカソってどんな人?】ピカソの人物像を知る。 見る①:【ピカソの作品、ど〜れだ?】ピカソの作品を11点鑑賞し、特徴を探る。 見る②:【何が見えるかな?】作品《静物》を、対話による鑑賞で見る。		
時 間	学習活動&役割分担 (シナリオ)	掲示、※留意点など	準 備
:	準備	(視聴覚室)	
~	導入:【美術館クイズ】 3分 近代美術館を紹介するクイズを2問行う。 T2:「美術館って何があるところかな?」 「絵」「彫刻」 T2:「美術館も作品です!」「椅子もあるよ!」 今日の学習を説明する。「一緒に絵を見ましょう!」	子供たちの緊張を ほぐします。  「これ、な〜んだ?」	☐ 近代美術館写真 ☐ マリリン写真
~	知る:【ピカソってどんな人?】 15分 T2:「実は、美術館からもう一人来ているます!」 T1:「わたし、キ・レ・イ?」お面を被って登場 T2:「この人、女性かな〜、男性かな〜?」 T1:「私をこんな風に描いた人、誰だと思う?」 「ピカソ!」 T2:「正解! ピカソってどんな人か知ってる?」 ~写真を並べる。 T1:「この人がピカソさんだと思う人!」 「なんで? どうしてそう思ったの?」 以下、順番に聞いていく 「正解を 先生に聞いてみましょう!」 T2: 写真の人物を紹介する。 (シャガール、マチス、ダリなど紹介) T1:「裸の人がピカソさんでしたね〜。」 「どうして裸なんですか?」 T2: ピカソの出身国スペインについて 裸のエピソード 1881-1973 (91歳) 名前の紹介「長生きしたけど名前も長いよ!」	 ※子供が注目した点を 褒める。 「よく見てるね〜!」 《ドラ・マールのお面》  ※「どうしてこの人だと思ったのか、選 んだ理由が言えるといいね!」 出身国:スペイン マラガ市 (闘牛、フラメンコ、カダファシ教会) バプロ・ディエゴ・ホセ・フランシスコ・ デ・パウラ・ファン・ネボムセーノ・マ リーア・デ・ロス・レメディオス・クリ スピアーノ・デ・ラ・サンティシマ・ト リニダード・ルイス・イ・ピカソ	☐ ドラ・マールのお面 ☐ 芸術家顔写真
~	見る①:【ピカソの作品、ど〜れだ?】 15分 T2:「ピカソが描いた絵を見つけてね!」 ~絵を並べる。 T1:「この絵をピカソさんが描いたと思う人!」 「なんで? どうしてそう思ったの?」 以下、順番に聞いていく 「正解を 先生に聞いてみましょう!」 T2:「これとこれと…がピカソの絵です。」 T1:「この絵の共通点を見つけてみましょう!」 児:「カクカク!」「いろんな色!」「鮮やか!」 T1:「本当だ! いい所に気が付きましたね。」 T2:「実は全部ピカソが描いた絵です!」 「描いた順番に並べてみよう!」 学生時代→青の時代→バラ色の時代→アヴィニ ヨンの娘たち などを紹介する。	 ※カクカクや色に注目させる! ※アフリカのお面について紹介する。  ◆対話による鑑賞 「何が描かれている かな?」 「青い色から感じた ことは?」 《スーパ》	☐ ピカソ複製画

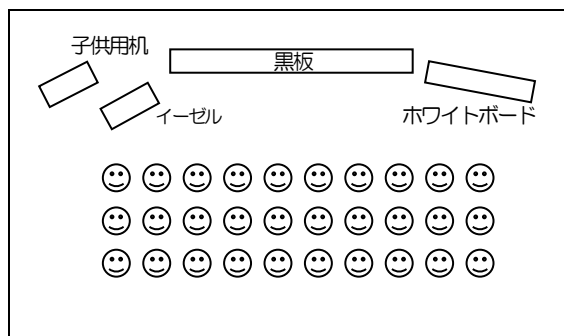
: ~ : ~ :	見る②:【何が見えるかな?】10分 T1:「この中に1枚だけちょっと違う絵があります。ど〜れだ?」 「人かい!ない!」 T1:「正解!」 T2:「この絵が近代美術館にあります!」 「30秒、よ〜く見て、何が描いてあるか見つけてください。」 T1:「OOさん」と、子供をあててください。 「ポット」「ろうそく、ろうそく立て」 「鏡」「絵」「窓」 「コーヒーカップ」「スプーン」 「テーブル」「椅子」…など T2:「実際は、こんなものを見て描きました。」 ~ここで実物を見せる。 以下、T2が進める。	 《静物》 ※「鏡」「絵」「窓」の中に何が見えるか考えさせる。 ※実際のものとちょっと違うところを探させる。(多視点画法) ※色や形からの印象を感じ取らせる。	☐ イーゼル ☐ 静物複製画(大) ☐ 静物セット
: ~ :	まとめ 2分 T1:「今日の鑑賞は楽しかったかな?」 「感想を発表してくれる人!」 T2:「美術館に本物の作品を見に来て下さいね!」		

<ピカソ名言>

「それにしてもあの絵は全然彼女にいていないな」「なに、彼女の方でだんだん絵に似てくるさ」
 「私は対象を見えるようにではなく、私が思うように描くのだ。」
 「子どもは誰でも芸術家だ。問題は、大人になっても芸術家でいられるかどうかだ。」
 「ようやく子どものような絵が描けるようになった。ここまで来るのにすいぶん時間がかかったものだ。」
 「わたしは戦争を描けなかった。...しかし当時のわたしの絵の中に戦争があることは疑いない。」

教室配置

○イーゼル・子供用机・ホワイトボードは必要です
 ○授業前に、机の上に《静物》の実物を用意しておき、布をかぶせておきます。
 ○子供は椅子、座布団、どちらでもOKです。
 ○筆記用具はいりません。



対話による鑑賞について

対話による鑑賞の授業は、美術作品をよく見てその意味を自分で創り出す、学習者中心の学習理論(社会的構成主義)に基づいた授業です。一人ひとりが学習に参加し、体験的に学び、共同で知識を構成していく。この学習過程を通して美術作品の理解が深まることはもちろん、問題解決能力や主体的思考力、コミュニケーション能力などの知的能力の育成も期待できます。

この授業に正解はありません。いい意見やおもしろい見方はありますが、間違った意見や、変な見方はありません。作品を見て自分が感じたことや考えたことを発表し合って、みんなで楽しみましょう。



4つの注意

①しっかり見る ②よく考える ③手を挙げて、考えたこと感じたことを大きな声で話す。 ④他の人の発言をしっかり聞く。

Let's try!

何が見えますか? お話してください。

作品のどこからそう思いましたか?

※理由を聞くことで、鑑賞が深まっていますよ!